

平成6年度 公立高等学校 卒業生の進路状況

— 高等学校教育課 —

平成六年度公立高等学校全日制課程の卒業生の進路状況は次のとおりである。(平成七年五月一日実施の学校基本調査による。なお、平成六年度以前の数値も、その年度に対応する同調査によるものである。)

一 概 況

卒業生の総数は、男子一万二千五百十二人、女子一万千四百四十二人、計二万三千百九十四人である。

大学等(大学、短期大学、大学・短期大学の通信教育部・別科及び高等学校専攻科をいう)への進学率(就職進学者・就職進学者を含む)は四十九年以降減少してきたが、五十八年度の二十一・九パーセントを最低に以後増加傾向がみられる。六年度は、二十七・五パーセントと前年度に比し〇・七ポイント増加した。男女別では、前年度に比し男子〇・六ポイント、女子〇・九ポイントそれぞれ増加した。(図1-①参照)

就職者の割合(就職進学者・就職進学者を除く)は、五十年以降年々増加していたが、元年度から減少し、六年度は前年度に比し二・四ポイント減少した。(図1-②参照)

就職者の県内留保率(県内への就職率)は年々増加し、六年度は七十九・六パーセントと、最高を示した。(図2参照)

図1 大学等進学率と就職者の割合の推移

